

聖書塾 第16期 横浜キリスト福音教会 聖書教育センター 主催
ご案内 ～聖書学校〈OBI〉に学んで、今～

公開 特別聖書講座《オンライン併用》

(横浜キリスト福音教会 講壇から講義くださいます)

『神の学校〈1〉 ～心に決めて～ 』

メディアンでのモーセの訓練 出エジプト記2章11節～22節

開催日時:2026年 3月 14日(土)

14:00〈開始〉～ 15:30〈終了予定〉

※会場参加の皆様は、15:00より 講師との交わり があります。

※開催日は未定ですが、第2回も計画する予定です。



内藤清吉氏 救いの証しから

私は二宮で生まれ、仏教の真言宗を信ずる家で育てられました。高校一年生の時、近所に住むクリスチャンの誘いで、天幕伝道集会に出かけたのが、キリスト教との最初の出会でした。「イエス・キリストの十字架の死」と「死からの復活」とによる救いの話しは、荒唐無稽で全く理解できませんでした。しかし、証する信仰者自身に語らせている存在、語る者の全身から雷のように、電流のように伝わる存在に、私は強い衝撃を受けました。やがて、こうした集会や教会の方々の祈り、宣教の働きにより、姉がクリスチャンとなりました。家の中で異端的存在となった姉を批判し、キリスト信仰を止めさせるため、私は聖書とキリスト教関係の本を読み始めました。ところが姉を鋭く批判することを繰り返してゆくうちに、姉の中にあると思っていた「聖書のみことばと姉の実存との間に矛盾を形づくっているエゴイズム(利己主義)の問題」が、実は自分自身の中に離れ難く横たわっている現実を見るようになりました。ローマ人の手紙の中に「目の見えない人の案内人、愚かな者の導き手と自負しているなら、どうして、他人を教えながら、自分自身を教えないのですか。」(2章:20-21節)と、自分こそ盲人だと逆に突き付けられたのです。

講師 内藤清吉氏 ご紹介

～ 信仰の歩み ～

1949年9月21日: 神奈川県二宮町(真言宗の檀家→日本の民俗宗教を信ずる家)に生まれる。

1964年の秋: 初めて天幕伝道集会にて福音を聴き、イエスの復活は荒唐無稽と思った(15歳)。

1980年4月: 結婚(二人の娘が与えられ、クリスチャン家庭を築いている)。

1984年9月2日: 二宮山西キリスト教会で受洗(34歳)。それまで長い求道生活を送る。

2018年10月: 聖書宣教会にて聴講を始める(1.5年間、組織神学:キリスト論、旧新約通論等)。

2020年4月: OBI(お茶の水聖書学院)にて聴講(5年間、四神学諸科の各種講義)。

2022年3月: 二宮山西キリスト教会転出し、茅ヶ崎同盟教会に転入。

2025年3月: OBIを卒業(卒業研究論文:「パウロの回心」(副題:その過程と本質について))。

2025年4月: 聖書宣教会に再入会して聴講(組織神学<人間論、救済論>、宣教学、牧会学等)。

2026年2月: 現在に至る(76歳、茅ヶ崎同盟教会・責任役員)。

会場参加の方へ

基本的に申し込みは必要ございません。ただ、講座資料など手元に欲しい方は、3月11日(金)までに、以下にご連絡ください。

連絡先:慶徳メールアドレス
jjmasa213@gmail.com

参加 申し込み 〈オンライン参加の方へ〉

締切 3月11<金>までにお知らせください

注)講座資料(説教メモなど)郵送希望の方は早めにご連絡ください。

参加ご希望の方は、次の内容をご連絡ください。

① お名前 ② 所属教会 ③ メールアドレス

日本福音キリスト教会連合 横浜キリスト福音教会
聖書塾主宰者:慶徳正好<聖書教育センター 教育主事>
連絡先:慶徳メールアドレス jjmasa213@gmail.com(小文字)